

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

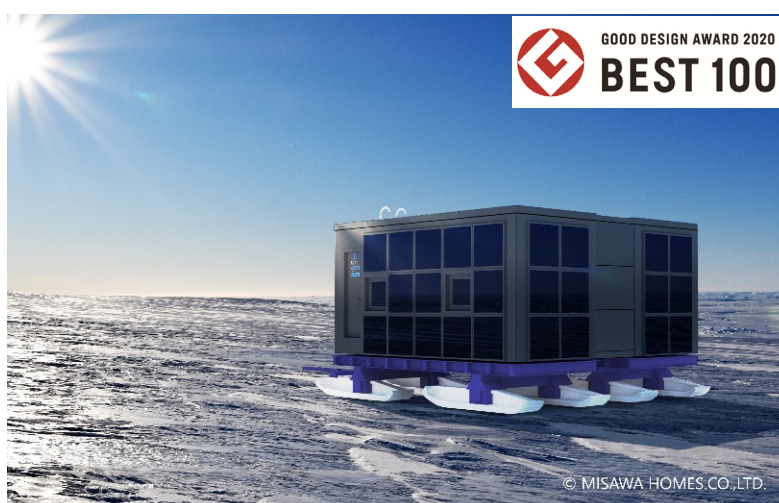
2020 年 10 月 1 日

住宅業界唯一の 31 年連続受賞

2020年度グッドデザイン賞を受賞



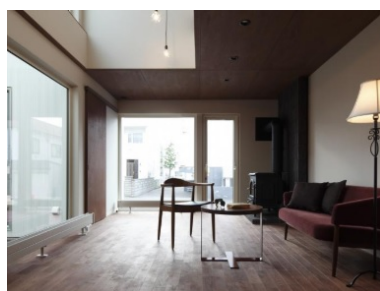
CENTURY Stylepro HIRAYA



南極移動基地ユニット※1



CENTURY Stylepro



こなゆきの家



森本邸※2

- 5 点（共同受賞を含む）の受賞により、累計受賞数は住宅業界最多の 161 点
- 今年は「南極移動基地ユニット」が 2 年連続となる「グッドデザイン・ベスト 100」受賞
- 工業化住宅、個人邸、研究プラットフォームと、幅広い分野にわたるデザインが評価

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員磯貝匡志）は、2020 年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）において、計 5 点を受賞しました。1990 年の初受賞以降、住宅業界唯一の 31 年連続受賞、住宅商品 56 点をはじめ、住宅関連部品や個人邸など累計 161 点の受賞数は住宅業界では最多の実績です。

また受賞した 5 点のうち、「南極移動基地ユニット」は、くらしや産業や社会をさらに推し進め未来を示唆する優れたデザインとして高く評価され、「グッドデザイン・ベスト 100」に選ばれました。「グッドデザイン・ベスト 100」の選定は 2 年連続です。

※1：正式名称は産官学連携による宇宙開発技術研究手法 「南極移動基地ユニットを用いた研究プラットフォーム」
株式会社ミサワホーム総合研究所、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 との共同受賞

※2：個人住宅「森本邸」は有限会社西沢立衛建築設計事務所との共同受賞

また住宅（商品化・工業化住宅部門、戸建て住宅部門）では、工業化住宅の「CENTURY Stylepro HIRAYA」や「CENTURY Stylepro」、北海道における住宅の歴史に寄り添い、北海道独自の現代住宅として再構築した個人住宅「こなゆきの家」、ミサワホーム A プロジェクトの一環で西沢立衛建築設計事務所と協働して設計・建築した木質パネル接着工法と木造在来工法を組み合わせた個人住宅「森本邸」の4点が受賞しました。

ミサワホームは、「4つの育む」という理念のもと、住まいとは、そこに住む「家族」や「暮らし」、さらには「日本の心」や「環境」をも育むものと考えています。住まいを中心に家族のあらゆる生活をデザインするという考えのもと、建物というハードだけでなく、暮らしの快適さ、楽しさ、安全性や子供の成長、人と人とのつながりを実現するためのソフトを含めてデザインしてきました。さらに将来を見据えた視点から、豊かな未来を拓いていくために、まちづくりから社会、地球環境に貢献するデザインにも取り組んでおり、長年のこうした取り組みが評価され、グッドデザイン賞の31年連続受賞という住宅業界唯一の実績にもつながっていると考えています。

ミサワホームは、「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、今後も良質の住まいを提供し続けていくとともに、環境に配慮した持続可能な生活のための優れたデザインを実現し、豊かな住環境づくりに貢献します。

◆グッドデザイン賞受賞内容

1 産官学連携による宇宙開発技術研究手法 「南極移動基地ユニットを用いた研究プラットフォーム」



将来的な宇宙での有人探査拠点の構築を見据え、南極地域において技術実証を行うための共同研究プラットフォームです。南極地域で有人観測拠点を運営する場合の課題は、一般的な住まいにおける持続可能な生活、および宇宙での有人探査拠点構築にも共通する事項が多いと考えます。これらの課題を解決するために、共同研究プラットフォームとしての「南極移動基地ユニット」では、フロンティアでの拠点構築という目的に対して、「省施工化」「省エネルギー性」「空間環境の最適化」を大きなテーマとし、テーマごとに技術を南極地域にて実証・評価し、未来住宅・宇宙拠点構築に向けた知見としていきます。

※株式会社ミサワホーム総合研究所、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 との共同受賞

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2019/0826/



外観(上)とユニット連結(下)のイメージ

省施工化『工業化・省部材』

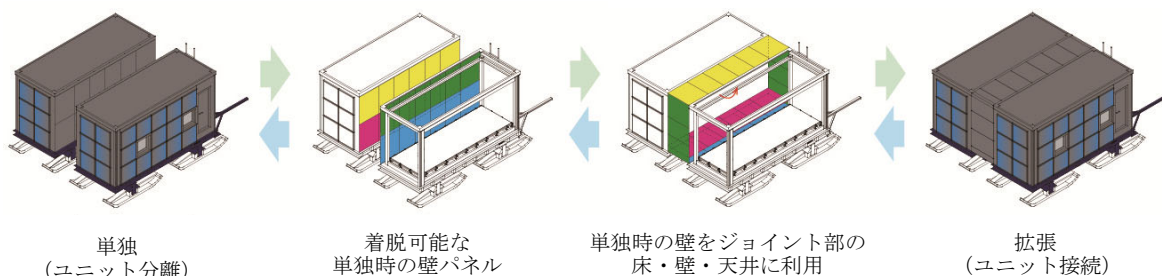
建物の拡張、縮小が繰り返しできる
施工省力化で専門的な知識のない作業員で施工が可能

省エネルギー性『カスケードソーラーシステム』

太陽光発電、温度差発電、太陽熱集熱で太陽エネルギーの多重利用
発電、集熱された太陽エネルギーで暖房し室温を維持

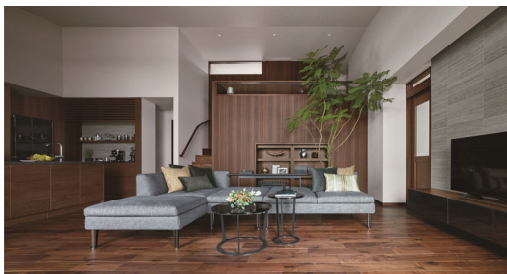
空間環境の最適化『デマンド換気システム』

センサ情報（CO2濃度）と連動した換気システム
換気量の最適化によるエネルギーと熱ロス削減

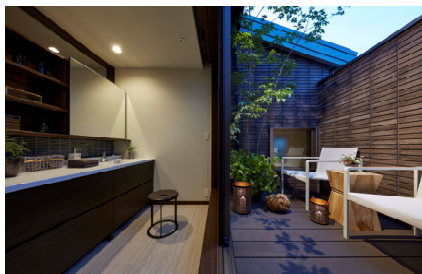


2 CENTURY Stylepro HIRAYA

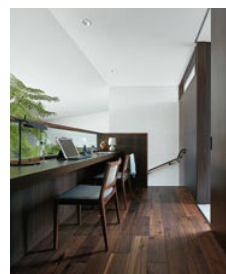
都市郊外の豊かな周辺環境における1.5階建平屋住宅。大収納空間「蔵」は平屋住宅に不足しがちな収納量を確保すると共に、これまではない2層のスキップフロア空間を創出。「蔵」の上に設けた1.5階には、テレワークや勉強、趣味スペースとして活用できる「ホーム COMMONS」、プライバシーを保つバルコニー「バスコートラウンジ」を採用。1階リビングの最大4mの勾配高天井は1.5階とのつながりを創り、家族との程よい距離感を演出します。また、住まいのウチとソトを大開口でつなぎ、敷地内の自然環境を暮らしに取り入れる、ゆとりある生活を実現します。



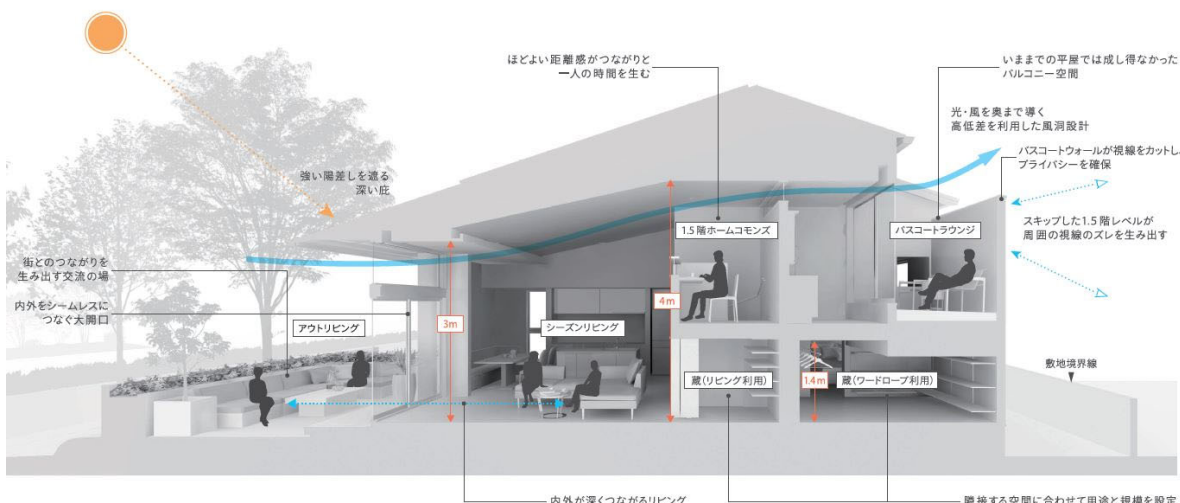
リビング



バスコートラウンジ



1.5階のワークコーナー



※Web サイト：https://www.misawa.co.jp/kodate/syohuin/century_stylepro_hiraya/

3 CENTURY Stylepro

コンセプトは都市近郊の限られた敷地における空間の最大化と、ウチとソトが一体的に感じる空間。高さ約3m、幅約4.5m幅の大開口から壁を伝わる光や、室内外で素材を統一した天井は、リビングと庭がつながる心地よい空間を実現します。1.5階の階段ホールには、家族や時代の成長に合わせて用途を変更できるオープンスペース「ホームCOMMONS」を配置。また、異種勾配屋根は通常屋根の約1.6倍の太陽光発電の搭載を可能とし、敷地制限をうけながらも最先端の省エネルギー住宅「LCCM住宅」に対応。環境問題への配慮と美しいデザインを両立した住まいです。



リビング



1.5階の階段ホール



外観

※Web サイト：https://www.misawa.co.jp/kodate/syohuin/century_stylepro/

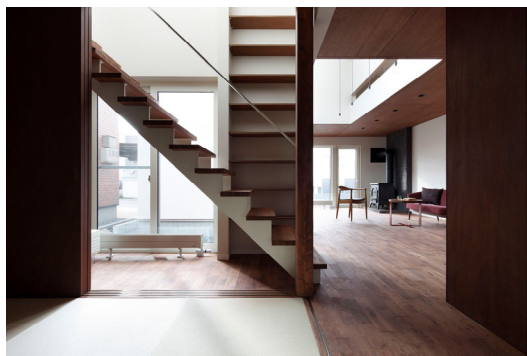
4 個人住宅「こなゆきの家」

北海道における住まいの象徴といえる、1960年代を中心に北海道住宅供給公社によって大量供給された通称『三角屋根』。この住宅は急勾配屋根と集合煙突、必要最小限の開口部で構成されたシンプルな外観と、ストーブ一台で一階全体を温めることのできる開放的な平面形が特徴でしたが、近年は都市化により宅地が狭小化し、フラットな無落雪屋根が多くなっています。

この平面形や特徴的な内外意匠を解釈し直し、高気密・高断熱化した住宅性能にて再構築。新たな空間性や意匠性を備えて当時の素朴な生活を再生する、現代における北海道のスタンダードを模索してデザインしました。



外観



内観



リビング

※Web サイト：<http://www.moosmoosmoos.jp/gallery/gallery-detail.html?eid=00011>

5 個人住宅「森本邸」 ※有限会社西沢立衛建築設計事務所との共同受賞

ミサワホームが建築家とともに大胆な意匠で細部までこだわり抜いた住まいを建てる「ミサワホームAプロジェクト」の一環で、西沢立衛建築設計事務所と協働して設計した混構造による住まい。木質パネル接着工法による箱状の母屋を中心に置き、木造在来工法によって、その四周に開放的な下屋空間をぐるりと巡らせる構成にしており、異質な工法の組み合わせが、閉じられた空間と開放的な空間を明確に分けています。これからの時代に適した住宅として、工業デザインの木質パネル接着工法と、建築家による木造在来工法、それぞれの良さを組み合わせることによって住まい手のニーズに応えるデザインにしました。



内観



外観

以 上

■ミサワホームのデザイン（特設サイト）(<https://www.misawa.co.jp/design/>)

＊この件に関する問い合わせ先＊

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課 星沙織 麻生和広

TEL 03-3349-8088／FAX 03-5381-7838 E-mail：Saori.Hoshi@home.misawa.co.jp